

事務事業マネジメントシート
(兼)予算編成資料・実施計画資料22年度事業 事後評価
作成日 H 24 年 2 月 20 日作成

事務事業名	消防職員育成参画事業 ■実施計画事業	所属部局	消防本部	単位番号	13008	
		所属課室	消防課	課長名	芦沢俊一	
基本政策	■ 情報と連携の都市づくり	所属担当	警防・救急係	担当者名	功刀義仁	
			会計	名称	款 項 目 細目 細々目	
政策	■ 安全な環境づくり	予算科目	01	一般	0 9 0 1 0 1 0 3 0 1 4	
			事業区分	■ 国の制度による義務的事業	■ 施設等維持管理事業	
施策	■ 防災体制の充実		■ 県の制度による義務的事業	■ 補助金交付事業		
			■ 市の制度による義務的事業	■ その他の事業		
			■ 義務化されている協議会等の負担金			
事業期間	■ 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) ■ 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	法令根拠	消防組織法、消防法			
事業の概要	事業の内容 期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 消防職員としての基礎的な知識及び専門的な高度な技術等を身につけるため、職員を山梨県消防学校(初任教育を除く)、総務省消防大学校へ派遣する。 消防関係の全国的講習会に職員を参加させ、専門的知識の習得を図る。	事業費の主な内訳 (22年度)	項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)
		その他負担金		150		
					計	150

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	県消防学校5課程研修、受講者予定数11人 全国的な消防関係講習会研修予定者6人
22年度活動実績	県消防学校9課程研修、受講者予定数26人 全国的な消防関係講習会研修予定者6人
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	
消防職員	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	
消防活動に必要な知識、技術、資格を習得できる。	
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
・職員の消防技術の向上 ・災害現場での的確かつ迅速な活動 ・人命救助及び被害の軽減 ・組織の強化消防活動が円滑に行なわれ、人命を無事に	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 現任職員受講者数	人
イ	
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 職員数	人
イ	
ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 研修を受けた職員数	人
イ	
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア 研修職員の割合	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータル	事業費	国庫支出金 千円							
		県支出金 千円							
		地方債 千円							
		その他 千円							
	一般財源	千円	534	150	320	277	300	300	
	事業費計 (A)	千円	534	150	320	277	300	300	0
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	240	200	240	240	240	240	
	人件費計 (B)	千円	1,071	892	951	951	951	951	0
	(A) + (B)	千円	1,605	1,042	1,271	1,228	1,251	1,251	0
活動指標		ア 入	32.0	27.0	32.0	30.0	30.0		
		イ							
		ウ							
対象指標		ア 入	80.0	79.0	79.0	79.0	79.0	79.0	
		イ							
		ウ							
成果指標		ア 入	32.0	27.0	32.0	30.0	30.0	30.0	
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア %	40.0	34.0	41.0	38.0	38.0	38.0	
		イ							

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	消防組織法により消防職員の教育に関する事項が示され、消防職員の教育機関として山梨県消防学校が設置されたことにより、消防本部発足当初から研修に派遣している。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	山梨県消防学校への研修は特に変化していないが、総務省消防大学校への研修は県内各消防本部と入校枠の調整が必要であるため毎年実施していない。
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会)特に無し等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	研修は勤務態勢を考慮した人員を派遣する方法しかなく、それ以上の研修が望めないため。
H 22年度に実施した改革改善の内容	特に無し

事務事業名	消防職員育成参画事業	所属部	消防本部	所属課	消防課
-------	------------	-----	------	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 消防業務遂行上、教育は重要であり適切であると考える。	[理由]	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 自治体消防の任務である。	[理由]	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である 消防職員としての基礎、中堅及び幹部に至り知識の修得、教育が必要で適切である。	[理由]	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
有効性評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 県消防学校における教育等については、より多くの職員に研修を受講させたいが、勤務人員に余裕がないため、研修に出向させる職員に限りがあり、現状以上の職員研修が困難であるため。なお、消防学校の教育訓練科目は実施年度により若干の相違があるため、年度により教育実施職員数に変動はある。	[理由]	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない	[理由と具体案] [理由]	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり [理由と影響の内容] 消防職員の資質の向上、市民への安全安心業務の知識、技術の低下が考えられる。	<input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない [理由] 消防職員のじしきの向上、市民への安全安心業務の知識、技術の低下が考えられる。	
効率性評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 消防活動に必要な知識、技術、資格の習得に必要である。	[理由・具体案] [理由]	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 職員教育は必要な業務であり、これによるとする事務は削減できない。	[理由・具体案] [理由]	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
公平性評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 消防職員としての育成である適当である。	[理由・具体案] [理由]	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	職員の資質向上を図るうえにおいて、今以上の研修が必要と考える。
有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性 、 、 の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性 、 、 の結果) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性 、 、 の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性 の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性 の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性 、 の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)	<table border="1"> <tr> <td colspan="3">コスト水準</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要</p>	コスト水準			削減	維持	増加	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
コスト水準																	
削減	維持	増加															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>															
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>															
(2) 改革改善案について 職員の育成に係る研修への積極的な参加 専門分野の職員の育成																	
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 職員の増加、条例定数の増加。	(5) 事務事業優先度評価結果																
	成果優先度評価結果																
	コスト削減優先度評価結果																